

C S だより

community school

文責：菊岡 文枝
(CS ディレクター)

秋の夜長、虫の音が心地よく響くころとなりました。保護者の皆様、地域の皆様には本校の教育活動にご協力いただき、まことにありがとうございます。9月には1年生と2年生の校外学習引率ボランティア、4年生は須津の文化財について地域の皆さんから話を聞きました。5年生はミシン指導支援が始まり、多くの皆様のご協力をいただいています。地域の皆様や保護者の皆様のご協力で子供たちは安全に安心して活動ができ学びを深めることができます。ありがとうございます。

9月・10月活動記

4年生須津の文化財の学習

9月16日（火）に「4丁目の御神楽」と「古墳」の話を地域の方から聞きました。御神楽は宇佐八幡神社の横に安産を願って建てられた子安神社のお祭りで、1月15日に4丁目を回るそうです。獅子頭を見せていただきました。

古墳は須津になんでたくさんあるのか、どんな古墳があるのか、11月1日に千人塚古墳が整備されてお披露目されることなどを知ることができました。



2年生梨園見学

9月24日（水）松浦梨園を見学してきました。松浦梨園さんでは「幸水」「豊水」「あきづき」の3種類を8月上旬から9月中旬まで育てています。梨の大きさは機械が選別し、自動で大きさごとに箱に入れられるところを見せていただきました。



5年生防災学習

10月2日（木）に5年生が、防災危機管理課の菅野さんと須津地区担当の地域防災指導員の杉山さんを招いて開かれた防災講座に参加しました。

直後に大きい揺れに襲われた「阪神淡路大震災」と揺れる場所が広くて揺れる時間の長い「東日本大震災」の「揺れ」の違いを映像で確認し、「南海トラフ大地震」は両方の特性を合わせたような、大きい地震であることを知ることができました。家の耐震化、家具の固定をし、1週間分の家族全員の食糧を備蓄し、できるだけ避難所に行かずに自宅で過ごせるようにすることが大切との話を聞きました。下水道が復旧するまでトイレは使ってはいけないとのことで、携帯トイレの組み立て方や使い方を教えてもらいました。また段ボールベットの組み立て方も教えてもらいました。菅野さんから「地震が起きたら皆さんには食事や支援物資の配布などのお手伝いをしてもらいたい。皆さんは大切な戦力です。」との言葉がありました。

